

奥永源寺

けい流カー



自動運転車両が走行する道路です



たてはたはし

02 特集 けい流カーがより便利に！

03 けい流カー Now!

04 けい流カーを支える人々 #1:東近江市役所

自動運転レポートVol.3
2024年12月 近畿地方整備局

特集 けい流カーがより便利に！

道の駅周辺に乗り入れ

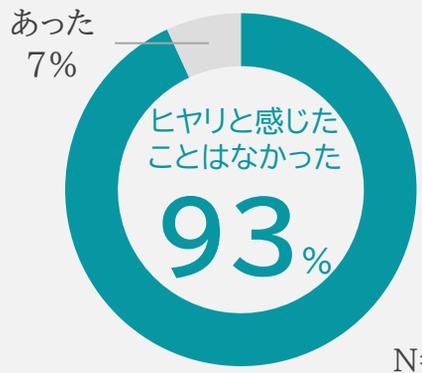


奥永源寺けい流カーでは、令和6年4月より、道の駅から徒歩2分程度の位置にあった「奥永源寺深流の里」停留所を、道の駅駐車場に隣接するスペースへ移設しました。これにより、運行前後の車両が道の駅から視認できるようになるとともに、道の駅を利用する足腰の不自由な方などにとっても、より利用しやすいサービス形態となりました。

利用者の方からは、道の駅から気軽に利用できるといったご意見や、見晴らしの良い橋の上を通行することに対して好評をいただいています。また、現地スタッフからは、受付から近くなったことで利用を呼び掛けやすくなったとの声も上がっています。



◀橋の上を走行する区間で、乗車中にヒヤリと感じたことはありましたか？



また、今回の延伸にあわせて、橋梁上を自動運転車両が走行するための走行空間を整備しました。この空間は歩行者も通行するため、安全対策として、路面舗装や看板の設置等による走行環境の周知や、歩行者を優先する運用等を行っています。

これらの取組により、奥永源寺けい流カー利用者へのアンケート調査では、回答者の93%から、走行時にヒヤリと感じることはなかったと回答を得られました。今後は沿線住民へのアンケート調査やビデオ調査等も通して、より安全で便利なサービスの実現に向けて検討を進めていきます。

けい流カー NOW!

新たな取組予定や利用者の声など、自動運転サービス 奥永源寺けい流カーの最新のトピックスをご紹介します。

#けい流カーでSNSに投稿しよう！

奥永源寺けい流カーでは、SNS等を通してご乗車いただいた皆様からの感想を収集し、サービス改善に役立てていきたいと考えています。奥永源寺けい流カーに乗車された際は、X(旧Twitter)、Instagram、Facebookなど、ご自身のSNSアカウントから、乗車時に撮影した写真や、自動運転車両に乗車した感想などを、「#けい流カー」をつけて投稿してみてください。

また、SNSでの投稿に使えるアイテムとして、この秋から車両内に手持ちボードを設置しました。乗車した感想とあわせて、乗車時のよい思い出として、ぜひこちらの手持ちボードを使った写真なども投稿してみてください！



音声ガイドサービスの運用を開始しました！

奥永源寺けい流カーをより多くの方にご利用いただくため、今年の運行開始より、音声ガイドサービスを開始しました。

音声ガイドサービスでは、地元在住の現地スタッフがおすすめする、走行ルート沿いの見どころや観光スポットのほか、自動運転走行技術などについて、元コミュニティ放送のアナウンサーがご案内します。音声ガイドサービスを聴きながら、先進的な自動運転技術と奥永源寺の自然豊かな環境をお楽しみください。

なお、音声ガイドサービスの音源は、東近江市役所のホームページからも聴くことができますので、現地に行くことが難しいという方も、ぜひお聞きいただき、けい流カーを体験してみてください！

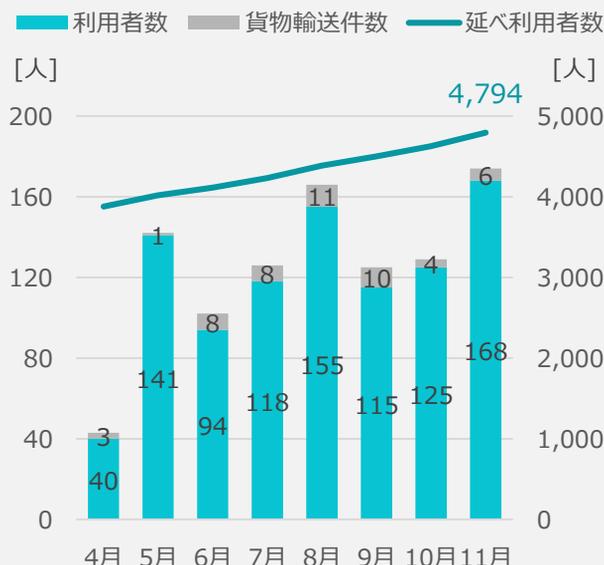
▼音声ガイドサービス音源(東近江市HP)

<https://www.city.higashiomi.shiga.jp/0000017189.html>

2024年も多くの方にご利用いただいています！

2024年の奥永源寺けい流カーの運行は、4月17日から開始し、毎週土曜・日曜に加え、隔週水曜または金曜に運行しています(GW等は別途臨時で運行)。直近では1か月あたり概ね100名以上の利用があり、2021年の運行開始から3年半で、延べ4,794名にご利用いただいています。これからも、より多くの方にご利用いただけるサービスを目指した取り組みを続けていきます。

▼利用者数の推移(2024年4月～11月)



けい流カーを支える人々

#1: 東近江市役所



道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転サービスは、令和3年の社会実装から約3年半が経過しました。

この自動運転サービスに寄せる期待や今後の展開について、運営主体である東近江市役所公共交通政策課 澤課長補佐にお話を伺いました。

Q 奥永源寺地域の 特徴と課題

奥永源寺地域では、高齢化率が56%と、市全体に比べて2倍近く高齢化が進んでいます。高齢者の免許返納等も想定される中、いかに「地域の足」を確保し、マイカー依存から脱却するかが課題と感じています。

一方で、奥永源寺けい流カーのように、二種免許保有者等であっても安全に扱える自動運転車両は、中山間地域との親和性が高いと考えています。



Q 自動運転サービスに 寄せる期待と展望

奥永源寺けい流カーの社会実装を通して、公共交通の確保だけでなく、山里市場への貨物輸送や、道の駅との相乗効果により、地域の活性化に役立っていると感じています。特に、交通事業者協力型自家用有償旅客運送制度を活用し、地元の交通事業者や、地域住民の有償ボランティアと連携した運営体制を構築できたことは、事業継続の秘訣だと考えています。

引き続き、地元利用と観光利用の両面から利用促進を進めていく予定です。また、市内他地域への展開も見据えた安定的な事業継続に向け、運賃設定のあり方や買い物代行サービス等の可能性についても、検証を重ねたいと考えています。

